

対象地域：北海道

再生課題：干潟の再生

ほ っ か い ど う む か わ か こ う 北 海 道 鷓 川 河 口

再生 目標

シギ・チドリ類を中心とした渡り鳥の中継地としての機能を回復させるための干潟の再生



鷓川河口では干潟が形成されており、渡り鳥の重要な中継地点となっています。鷓川の河口部には、上流からの土砂と沿岸漂砂によって、河口をふさぐ独特の砂嘴と、その内側に広大な干潟を形成していましたが、近年急速に海岸浸食が進行し、渡り鳥の餌場として重要な干潟が大きく減少していました。

そこで、人工干潟の造成や、水制工の設置、サンドバイパス等を実施し、モニタリングを行っています。取組にあたっては、鷓川を想う地域住民や有識者、行政が一体となって、多くの意見交換を重ねながら鷓川河口の現状について認識の共有を図り、実践へと繋げてきました。

- 事務局
ネイチャー研究会 in むかわ
国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部
- 対象地域
北海道鷓川
- 活動開始：H8. 10. 22
- 活動計画：H18. 11. 8

(R4. 2現在)



シロチドリ

自然再生の手法

- 人工干潟の造成
- 水制工の設置
- サンドバイパスの実施
- 地域の協力によるモニタリングや維持活動

ここに注目!

地域課題解決探究学習「むかわ学」との連携

地域の高校が取り組む独自カリキュラム「むかわ学」の一つである「むかわの自然環境」の実施についてサポートを行い、鷓川河口干潟をフィールドとした保全・再生の取組説明や底生動物調査等を行っています。



活動の様子